

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年2月6日(2024.2.6)

【公開番号】特開2023-110954(P2023-110954A)

【公開日】令和5年8月10日(2023.8.10)

【年通号数】公開公報(特許)2023-150

【出願番号】特願2022-12512(P2022-12512)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 0

A 6 3 F 5/04 6 1 1 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年1月29日(2024.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像表示手段を備え、

打ち止めに係る遊技媒体の差数が特定値を超えた場合には、打ち止め状態とすることが可能であり、

打ち止めに係る遊技媒体の差数が第1差数(第1差数は、特定値よりも小さい)よりも大きい第1の状況では、画像表示手段に事前報知情報を表示可能であり、
事前報知情報は、打ち止め状態となるまでの遊技媒体数の情報である

ことを特徴とする遊技機。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

画像表示手段を備え、

打ち止めに係る遊技媒体の差数が特定値を超えた場合には、打ち止め状態とすることが可能であり、

打ち止めに係る遊技媒体の差数が第1差数(第1差数は、特定値よりも小さい)よりも大きい第1の状況では、画像表示手段に事前報知情報を表示可能であり、
事前報知情報は、打ち止め状態となるまでの遊技媒体数の情報である

ことを特徴とする遊技機。

40

50